

教育委員会だより

日本の「清瀬」から世界の "Kiyose" へ
Kiyose
きよせ

46号

平成27年(2015年)
8月1日発行

巻頭特集

清瀬のスポーツ教育



掲載記事

矢野選手が一日校長先生に!

- 1 清瀬のスポーツ教育
- 2 清明小学校でICTを活用した教育を実践
- 3 自分の思いを表現する力を伸ばす
- 4 武蔵野大学と連携協定を締結
- 5 本を借りてスタンプを集めよう
- 6 広島被災地の皆さんにメッセージを送りました
- 7 平成27年度に小学校で使用する教科書について
- 8 突撃インタビュー 清瀬の素敵なお先生たち
- 9 教育委員会の動き
- 10 平成26年度清瀬市教育委員会表彰
- 11 全国の郷土料理を給食で味わう
- 12 新刊図書案内
- 13 教育委員のご紹介

社会で生き抜く力を育む

スポーツ教育は、体力や技術の向上だけが目的ではありません。スポーツはルールを守り、仲間と協力し、自ら考え判断する力が求められます。勝負に勝つためには、そして良い記録を出すためには、日々練習をし努力を重ねなければなりません。



④

- ① 矢野選手のキックの実演。その洗練されたフォームと力強いボールの飛びに子供たちの視線は釘づけ。
- ② 憧れのアスリートとふれあう子供たち。めったにない機会に子供たちは緊張気味。
- ③ 「こんなに重いんだ！」本物の銀メダルを贈らせてもらい、メダルの重さと価値の重さを実感しました。
- ④ 少年少女サッカー大会での一コマ。瞬間的に戦略を考え、判断する力が身につきます。



⑤



⑥

- ⑥ ライバルより早い記録を出すにはどうしたらよいか。息継ぎのタイミング、手足の動き…。あらゆる要素を徹底的に検証し、水泳記録会に向けて特訓を重ねてきました。



⑦

その過程で社会性や精神力、責任感や倫理観といった、人間が社会の中で生きていくために必要な力を身に付け、そして健康に生きていくための体力を養います。清瀬市では「スポーツの清瀬」と銘打ち、生涯の人格を形作る時期である小・中学校でスポーツを通じた教育の取組を実践しています。

夢に向かって努力し、
立ちをはだかる壁を突き破る



①

平成24年(2012年)のロンドンオリンピックで銀メダルを獲得したなでしこジャパン元メンバーの矢野喬子選手が一日校長先生として芝山小学校にやってきました。憧れのオリンピックアスリートと直接交流し、夢に向かって努力することや困難を克服する力を培う意欲を高めることができました。これは平成32年(2020年)に東京で開催されるオリンピックに向け、オリンピックの意義や世界各国の歴史・文化への理解を深める趣旨のもと、東京都教育委員会の主催で実現しました。



②



③

巻頭特集

清瀬のスポーツ教育



全力で襷をつなぐ

⑧ 学校の垣根を越えて連携し、練習を重ねる中で築き上げた団結力。東京駅伝大会に清瀬の中学校選抜メンバーで参加し、みぞれの中仲間の思いがしみ込んだ襷をゴールまでつなぎました。



⑧



⑨

仲間との協力

⑨ 攻守が目まぐるしく替わるドッジボール。スーパードッジボール大会では、内野・外野の息があったチームワークが勝敗の鍵を握りました。



清明小学校でICTを活用した教育を実践

自分の思いを表現する力を伸ばす

文部科学省では平成32年度までに、子供1人に1台情報端末（タブレット）を配付し、デジタル教材を活用した質の高い授業の実践を目標に掲げています。清瀬市はその先駆けとして、清明小学校にタブレット端末や電子黒板などの最新のICT（情報コミュニケーション）機器を導入し、次世代の授業を展開しています。機器の導入は市内の二ツセイロールペーパー株式会社からご寄附を頂き実現しました。

その後、子供たちが撮影した動画をプロジェクターで大画面に投影し、情報共有しました。さらにグループワークで改めて見つめなおすことで理解を高め、実技演習で反省を生かしました。子供たちの興味も大きく、授業への集中度や理解度も格段に高まります。今後さらなる活用の方法を研究していきます。

10月には体育の跳び箱の授業で活用。川原田先生の指導のもと、友達が飛ぶ姿をタブレット端末で撮影し、即座に再生して、良かったところや失敗した原因などをグループで議

- ① 跳び箱で飛ぶ様子をタブレット端末で動画撮影。
- ② 撮影した動画を即座に再生し、グループで自分たちのフォームをチェック。
- ③ プロジェクターで大画面に動画を投影し、全員で情報共有。
- ④ 再びグループで動画を検証。課題が見えてきます。
- ⑤ 寄附をしてくださった二ツセイロールペーパーの日野社長。
- ⑥ 子供たちから日野社長に感謝の言葉を返りました。



全国人権作文コンテスト東京都大会で表彰された皆さんが教育長と懇話しました。



清瀬の100冊読書感想文コンテストですぐれた作品を書いた皆さんを表彰しました。

自分の思いや考えを自分の言葉で表現し、他人に伝えることは社会を生きていく上でとても大切ですがとても難しいことです。その力を養うため、小・中学校では作文や感想文の取組を多く行い、他者へ発信しています。

そのひとつとして「人権」について各自の日常生活・学校生活等で体験したことから考え、感じたこと、今後の自分についてなどをつづり、全国中学生人権作文コンテストに応募しました。作品からは「正義」の精神が確実に育まれていることが読み取れました。また、教育委員会と学校とで100冊選定した「清瀬の100冊」から選んだ本の読書感想文コンテストを実施し、「創造・想像する力」が着実に身につけていることがわかりました。

武蔵野大学と連携協定を締結

平成26年11月26日、武蔵野大学と本市教育委員会とで教育連携協定を締結しました。本市における学校教育の充実や、未来の教員養成を目的としています。また武蔵野大学では4年次の教育実習の前に「教育インターンシップ」として学校現場での長期実習を行っており、清瀬市立小・中学校での実習実施にも協力します。



武蔵野大学 寺崎 修学長(写真右)と坂田 篤教育長(写真左)

本を借りてスタンプを集めよう!

図書館では4月の「子ども読書の日」にあわせ、小学生までを対象に「読書スタンプラリー」を開催しています。期間中各図書館で、1日1回本を借りるときにスタンプを押し、スタンプを集めると図書館職員手作りの記念品をさしあげます。



広島被災地の皆さんに メッセージを送りました

平成26年8月20日に発生した広島市の土砂災害に対し、清瀬第八小学校では被害に遭った皆さんへの励ましのメッセージブックを作成し、東公民館にお送りしました。また、芝山小学校・清瀬第四小学校・清瀬第二中学校・清瀬第五中学校で募金活動を実施し、97,804円を義援金としてお送りしました。

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。



平成27年度に小学校で 使用する教科書について

平成27年度に清瀬市立小学校で使用される教科書(発行者)が下記のとおり決定しました。

教科	発行者
国語	光村図書出版株式会社
書写	光村図書出版株式会社
社会	教育出版株式会社
地図帳	株式会社帝国書院
算数	東京書籍株式会社
理科	東京書籍株式会社
生活科	日本文教出版株式会社
音楽	教育出版株式会社
図画工作	日本文教出版株式会社
家庭	開隆堂出版株式会社
保健	株式会社学研教育みらい

第2回 インタビュー! 清瀬の素敵な先生たち

清瀬の小・中学校でがんばっている先生たちを紹介していきます。第2回目は清瀬小学校の佐々木久美子先生です。

先生になろうと思ったのはなぜですか?

いつも明るくて、色々なことに気さくに答えてくれる小学校時代の担任の先生の姿を見ていたら「いつか自分もこんな先生になりたい」と考えるようになっていました。子供と関わるときに大切にしていることは何ですか?

頑張った時はしっかり褒め、いけないことをした時はきちんと叱る。そしてお母さんのように優しく大らかに抱いてあげたいと思っています。

清瀬小学校の子供の良いところを教えてください。

やんちゃでいざらもするけれど、根は素直で一筋にいてとても楽しい子供たちだと思っています。



Kumiko Sasaki

教育委員会の動き

平成26年9月から平成27年2月までの審議状況をお知らせします。この間に定例会を6回開催しました。議決された議案は下記のとおりです。

- 清瀬市教育委員会委員長職務代理者の指定について
- 清瀬市教育委員会表彰について
- 清瀬市文化財保護審議会委員の選任について
- 清瀬市教育委員会教育目標について
- 平成27年度清瀬市公立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の変更について

平成26年度清瀬市教育委員会表彰

教育委員会では毎年様々な分野で活躍している方を表彰しています。
今年度は次の方が受賞しました。おめでとうございました。



表彰された皆さん

受賞者一覧

【その他部門(義務教育9年間皆勤)】

猪野 淳彦(三中)

【スポーツ部門】

神谷 生恵(清小)・佐々木 想人(五中)

芝崎 直樹(二中)・鈴木 日菜(二中)

田中 万琴(二中)・濱野 優一(三中)

森 俊博(三中)

【芸術文化部門】

横井 有奈(二中)

清瀬第四中学校吹奏楽部

清瀬上和太鼓保存会

(敬称略)

全国の郷土料理を給食で味わう ～学校給食週間～



芝山小学校栄養士の小島
です。給食を通して日本各
地の食文化に触れてもらえ
たら嬉しいです。

子供たちが食に関する正しい知識と楽しい食習慣を身に付けるために実施している学校給食。文部科学省は1月24日から30日までを「学校給食週間」と定め、全国各地の教育委員会や学校で様々な学校給食に関するイベントを行っています。本市では全国各地の郷土料理を給食で再現して子供たちに提供しました。

保健給食委員の子供が放送で献立を紹介し、子供たちは初めて食べるメニューに興味津々。食べたことのあるメニューでも発祥の地や由来を聞いて驚くなど、日本の食文化への関心が高まりました。

28日の給食では東京一の生産高を誇る清瀬市のにんじんと江戸時代から栽培が始まったとされる小松菜を使用したメニューを提供しました。キャロットゼリーのにんじんは、清瀬の農家から直接仕入れた新鮮でおいしいものを使用し、自分たちの住む地域の農業についても学びました。

献立の例

【沖縄】

シシジュシー

チャンプルー

あおさ汁

バインかん

献立のメニュー

【東京】
かき揚げ天井・小松菜の辛子醤油かけ
すまし汁・キャロットゼリー

新刊図書案内

最近新しく入荷した図書から
お勧めの一冊をピックアップ。

【こだわらない練習】

小池 龍之介著 小学館

日常に潜む「こだわりの良」を過ぎ
け、「それ、どうでもいい」と過ごすこ
とで、悩みを解消しましょう。

【竹丘図書館所蔵】

教育委員のご紹介

伊豆倉和恵委員の任期満了にともな
い、平成26年10月1日より宮川保之
氏が清瀬市教育委員に就任しました。任
期は平成30年9月30日までです。

■宮川 保之(みやかわ やすゆき)
十文字女子大学 21世紀教育創生部教
授。東京都教職員研修センター部長、
台東区立柏葉中学校統括校長などを歴
任。中教審特別部会委員。



Yasuyuki Miyakawa

◆本紙の音声版をウェブサイトで配信しています。また、秘書広報課で音声版を収録したCDを貸出しています。

編集・発行

清瀬市教育委員会

電話 042-492-5111 (代表) FAX 042-495-3940

ウェブサイトURI <http://www.kiyose.ed.jp/>

教育委員会だより きよせ

検索

本紙へのご意見・ご感想をお寄せください。